

# 田川会長と越智事務局長が登壇

## 観光庁とUNWTO共催

### 「観光と技術に関する国際会議」

観光庁が6月2日、国連世界観光機関（UNWTO）との共催により奈良で開催した「観光と技術に関する国際会議」で、JATAの田川博己会長と越智良典事務局長が登壇しました。



JATAとUNWTOの連携などを紹介した田川会長

この会議は、日本が昨年9月のUNWTO年次総会でUNWTO理事国となつてから初めて日本で開かれた本格的な国際会議で、海外25カ国を含む、国内外より400名が参加しました。6月3日に開催された「アジア太平洋地域合同会議」と合わせて、2日間にわたり活発な議論やプレゼンテーションが繰り返されています。日本の交通技術や観光関連のIT技術



ネット販売と店舗販売の両立に言及した越智事務局長

などの最先端技術を国内外に発信するとともに、同分野における異業種間の取り組み事例などを紹介し、技術革新が観光をどのように変えていくかが議論された。観光と技術に関する国際会議では、田川会長がツアーリズムEXPOジャパンや海外での各種国際会議などUNWTOと様々な形で連携事業に取り組んでいることを紹介したほか、人的交流の拡大やテクノロジーと旅行との関わりなどについて語りました。また、3つのテーマで開かれたセッションのうち、「観光地における新たな技術利用の可能性と課題」をテーマに掲げたセッション2には、越智事務局長が登壇。「ハイブリッ

ドエージェンツ」日本の旅行会社が目指すもの」と題して講演した越智事務局長は、ネット販売と店舗販売を両立させたビジネスモデルの事例や、スマートグラスを活用した顧客の「スマートツアーリズム」の提案など、「ハイブリッド化」を目指しつつ、その部を実現している日本の事例を紹介しました。

3日に開催された「アジア太平洋地域

## 第1回世界観光開発会議開催

また、田川会長は5月19日、中国、北京の人民大会堂で開かれた中国政府と国連世界観光機関（UNWTO）の共催による第1回世界観光開発会議で講演し、「交流の力」で相互理解を促進し、「旅の力」で世界平和に貢献することの重要性を訴えました。

この会議は、昨年9月にニューヨークで開催された国連サミットで、2001年に策定されたミレニアム開発目標（MDGs）に代わる「持続可能な開発のための2030アジェンダ」を受けて開催されたもので、100カ国以上から約1000人が参加。開会式で登壇した中国の李克強首相は、中国が観光戦略を強化して「観光最強国」を目指していることを説明すると同時に、中国人の海外旅行者が増加することを通じて、今後、各国で中国人旅行者による消費効果が高まることを強調しています。会議では、「観光と貧困撲滅」と「観光と平和」という2つのテーマでセッションが開催

合同会議」では、東アジアや南アジアの各代表、UNWTOの賛助会員が参加して、様々なテーマで発表が行われています。JATAはこの会議で、「交流大国」を掲げて展開しているJATAの活動を国内外にアピールすると同時に、UNWTOをはじめ国内外の観光関係者らと交流を深め、ネットワークの更なる強化を図りました。

され、田川会長は「観光と平和」のセッションで登壇。「旅の力」が5つの要素から構成されており、現在の世界では、特に「交流の力」が重要であると指摘し、JATAが昨年、日本から中国へ3000人、インドネシアへ1000人の大交流団を送り、二国間交流の進展に寄与するなど、民間交流が大きな役割を果たすことを説明しました。

田川会長は、さらに、今年4月に発生した熊本地震への各国からのお見舞いに謝意を示し、被害が限定的で、九州北部や南部地区への継続的な旅行者の訪問への期待を表明しています。

また、会議では、「持続可能な開発のための2030アジェンダ」で、開発目標として各国が2030年までに観光業の促進に向けた政策を立案し、実施することなどが明記されていることを踏まえ、今後の各国での取り組みの方向性などについて記した「北京宣言」も採択されました。





2016 第九屆臺日觀光高峰論壇 in宜蘭 第九回日台觀光サミット

4 4 4 4 0 5 0 0 4  
01 00 0



2016 第九屆臺日觀光高峰論壇 in宜蘭 第九回日台觀光サミット



2016 第九屆臺日觀光高峰論壇 in宜蘭 第九回日台觀光サミット

4  
02 00 0 05 01 00 5 4 3 5 3 6 1 0 01 2 01 1

A

01

0 4

A

A

24

17  
0 00 7  
14 4 2  
L 3 7

4 4 4 4 4 4 4 4 4 5 4 4  
03 1 7 5 05 02 5 3 5 5 4 03

07 A J

0

A